

## 授業概要

資源の保護・保全、自然との共生、循環型地域社会の実現など、「環境」問題が地球規模での優先課題となっている。環境と観光は密接な関係にあり、地球温暖化、ごみ、食料問題などに対して、環境保護団体、世界や日本の自治体、観光関連の企業がどのように対峙してきたかを幅広く学びます。授業では観光ビジネスと自然環境保護・保全の在り方を、いろいろな例を見ながら考え持続可能（サステナブル）な観光について講義します。

## 授業計画

|        |                                           |
|--------|-------------------------------------------|
| 第 1 回  | 授業オリエンテーション・エコツーリズムとは（授業の進め方と学び方）         |
| 第 2 回  | 事例研究：知床とエコツーリズム                           |
| 第 3 回  | エコツーリズム推進の意義・利点、飯能市の事例                    |
| 第 4 回  | マスツーリズムからニューツーリズムへ                        |
| 第 5 回  | 国際的自然保護制度、ラムサール条約                         |
| 第 6 回  | ナショナル・トラスト                                |
| 第 7 回  | サステナブル・ツーリズム（持続可能な観光）                     |
| 第 8 回  | 海外事例研究：カナダ・世界一グリーンな都市の実現                  |
| 第 9 回  | 企業と環境問題（世界の大企業の環境保全への取り組み）                |
| 第 10 回 | 観光産業の環境問題への取り組み                           |
| 第 11 回 | 自然観光資源                                    |
| 第 12 回 | 自然保護の仕組みとその活動（自然歩道、世界自然遺産、世界ジオパークなどの取り組み） |
| 第 13 回 | オーバー・ツーリズム・海外の事例（ベネツィア、バルセロナなど）           |
| 第 14 回 | オーバー・ツーリズム・日本の事例（京都）と最新事情                 |
| 第 15 回 | 振り返り、持続可能な観光に向けて                          |
| 第 16 回 | 筆記試験またはレポート                               |

## 到達目標

- ・自然資源の保護・保全に関する先人の努力や現在の枠組みを学び、持続可能な観光の在り方が理解でき、自分に何ができるかを考えることができる。
- ・地球規模の環境問題に興味を持ち、日常からゴミ、食糧、水、脱炭素社会、汚染物質対応など身近な環境問題を意識し行動できる。
- ・エコツーリズムが観光業にとって今後の大きなテーマの一つであることを理解できる。

## 履修上の注意

テレビや新聞、Web サイトなどの情報を、日頃から身近なものも含め環境問題に興味を持つこと、考えること、意識して行動することが必要です。授業の順番は変わることがあります。自然保護のリアルな現状理解のため映像を使用することがあります。

## 予習・復習

予習・復習は授業内で適宜指示します。

## 評価方法

定期試験またはレポート（80%）授業態度（20%）を総合的に判断し評価します。

## テキスト

使用しません。必要に応じて授業資料を配布します。